

# 熊本県・八代市 イチゴにおける共同試験

生産者：山下氏圃場  
住所：熊本県八代市日奈久  
品種：ゆうべに

撮影日：令和5年12月18日

## 使用資材

(土壌改良剤)

セル-有機発酵リン酸Ca  
プレミアム セル-酵母発酵物  
セル-ナチュラルミネラル

(葉面散布・土壌灌水)

プレミアム セル-酵母発酵物  
セル-高濃縮有機酸ファイト・Fe<sup>2+</sup>  
セル-魚エキス600  
セル-フルボ酸・Fe<sup>2+</sup>  
セル-ファーマントK  
セル-ファーマントMg  
セル-ファーマントCa  
セル-ファーマントP  
セル-亜リン酸カリ28/18  
ハーモザイム



セル区

慣行区

撮影日：令和5年12月28日



セル区



慣行区

## 生産者コメント

- 令和5年度は猛暑による高温・生理障害により、生育の遅れおよび花芽分化の遅れが見られる傾向であった。
- 初期成育～出蕾・1番花・2番花・3番花まで、セル区の方が生育・出蕾が14日程度早期化していたことを確認できた。
- 年明け後、セル区は玉伸びもよく大玉の収穫量が増加した。3月に入り1,000パック/日の出荷が出来ている。
- 品質もセル区の方が良く、糖度も2度程度高く、美味しかった。
- 圃場の東側に山があり、朝日および午前中の日射量が少ない。また、収穫は5月初旬には終了する。そのような悪条件の中、令和4年度は収穫量が約4t/10aであったが、令和5年度は約5t/10aと前年比125%の収穫量増となった。熊本県の普及センターからも収穫量の伸び率が地域で一番だと評価を受けた。

# Brix糖度分析比較







収穫・分析日：令和6年3月10日

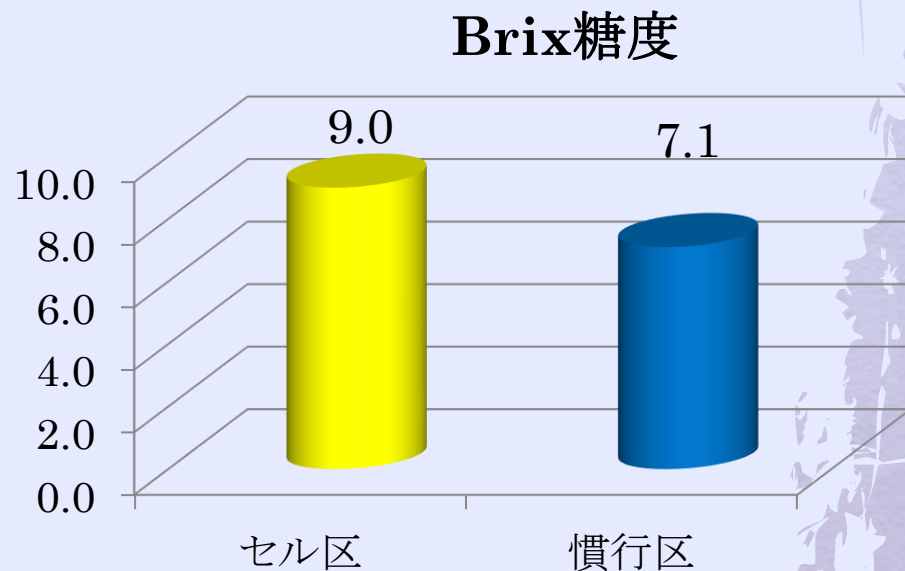


セル区



慣行区

	検体①	検体②	検体③	平均値
セル区				9.0
	9.7	8.4	9.1	
慣行区				7.1
	7.5	6.9	7.1	



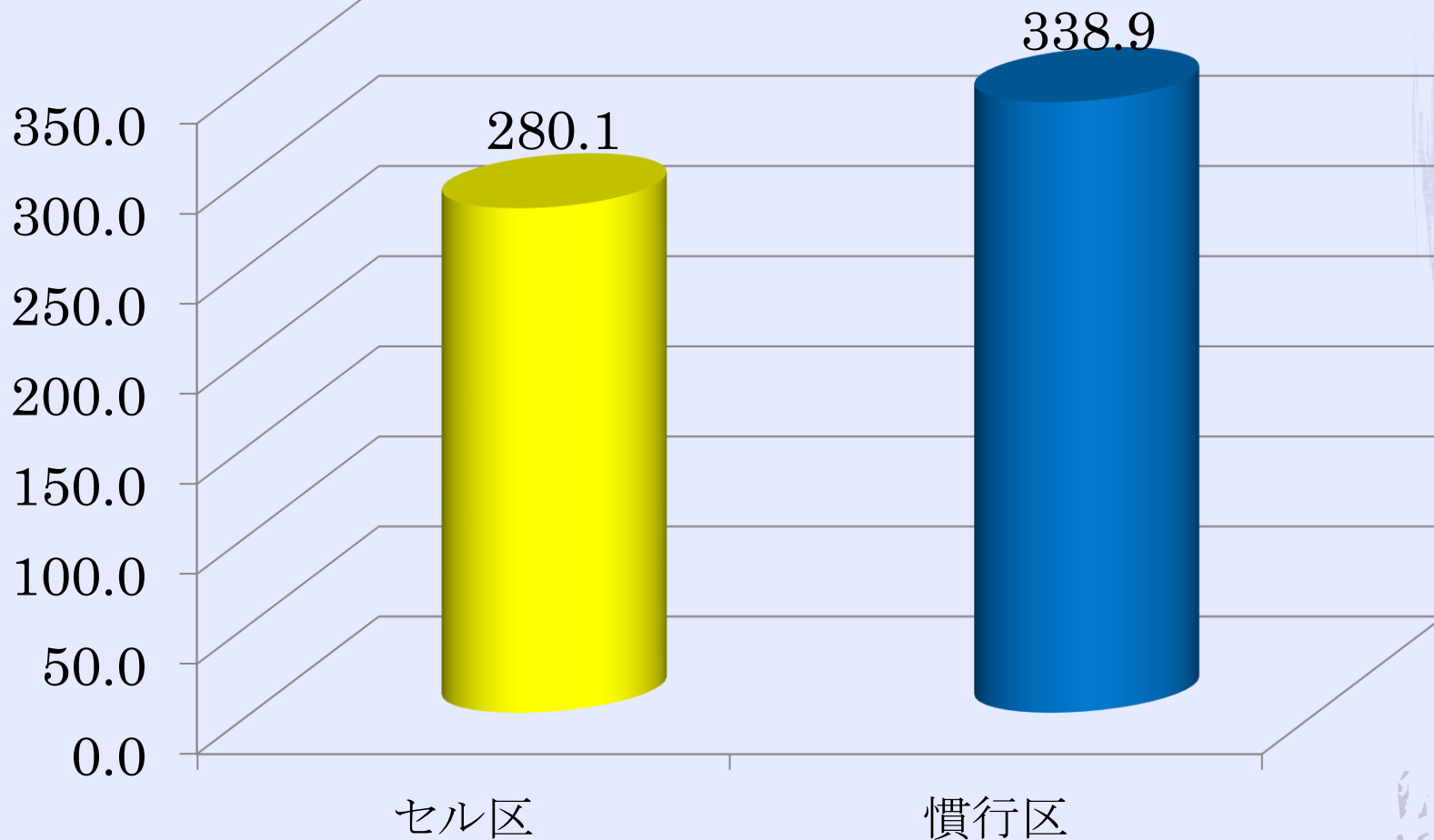
セル区は慣行区に対し**126.7%UP**

# 抗酸化力分析結果

2024年 デザイナーフーズ株式会社

## スーパーオキシド消去活性

単位/g

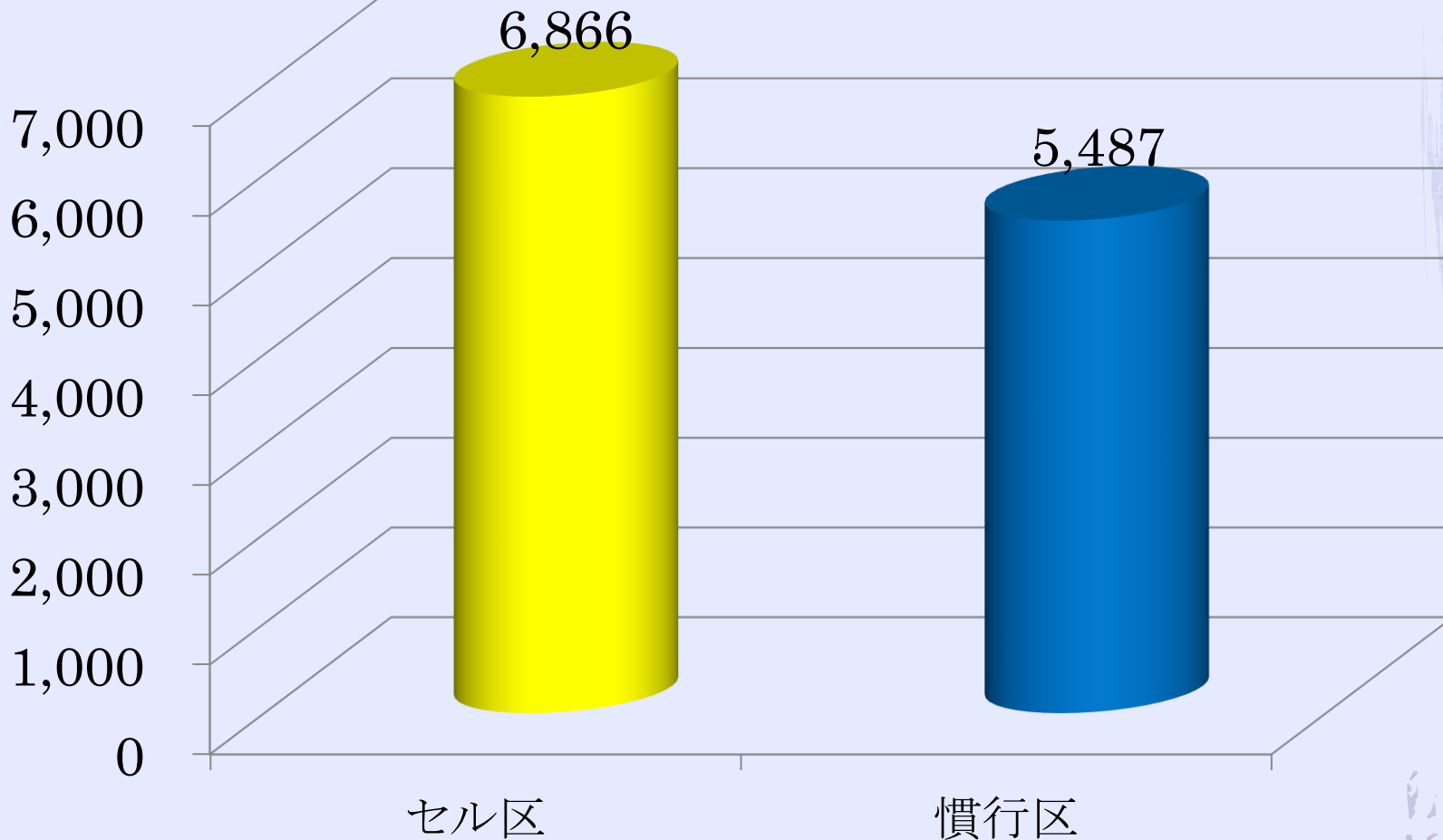


# 抗酸化力分析結果

2024年 デザイナーフーズ株式会社

## ヒドロキシルラジカル消去活性

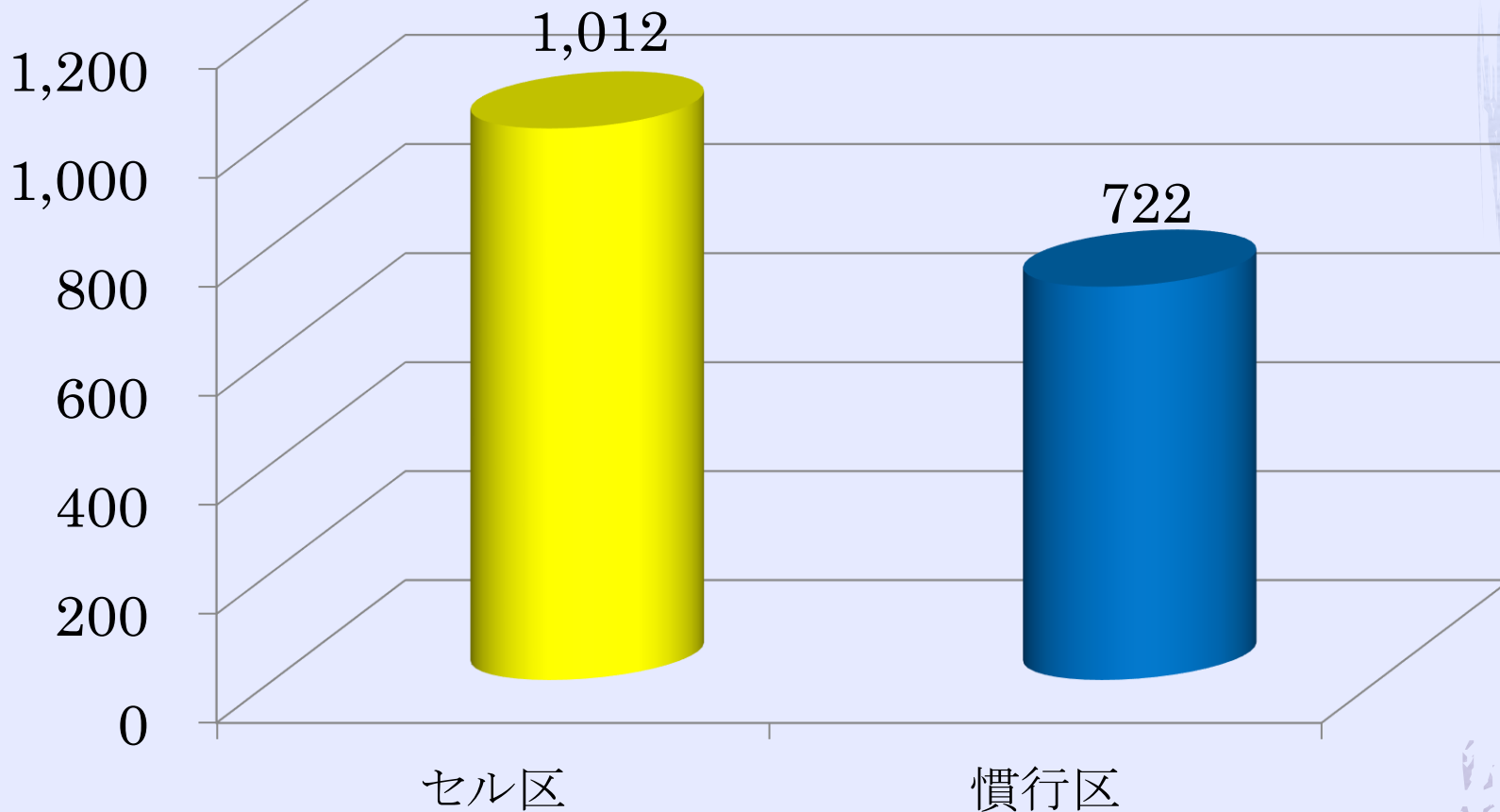
単位/g



セル区で慣行区の**125.1%**達成！

## 一重項酸素消去活性

単位/g



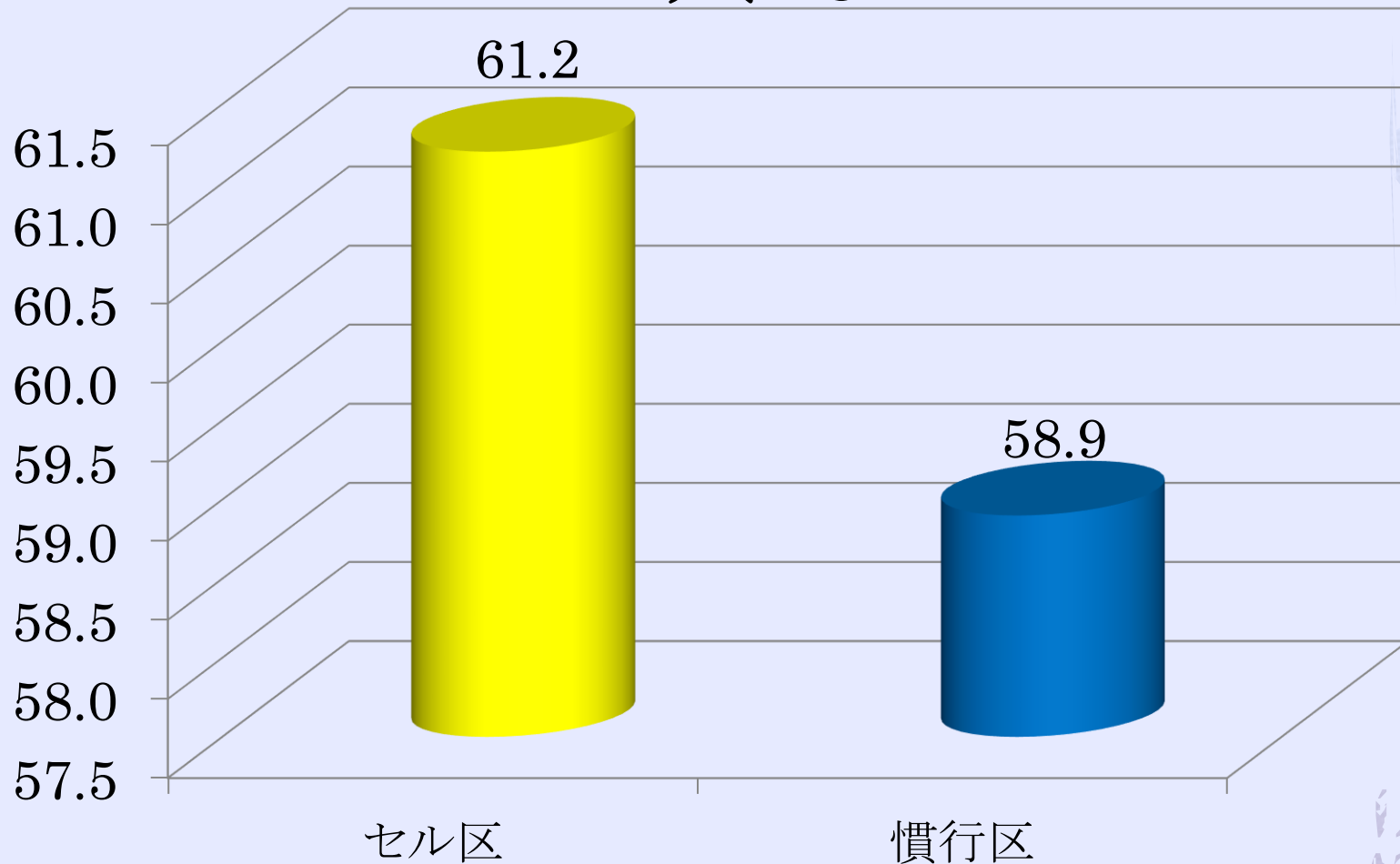
セル区で慣行区の**140.1%**達成！

# 機能性成分分析結果

2024年 デザイナーフーズ株式会社

## ビタミンC

単位mg/100g



セル区で慣行区の**103.9%**達成！

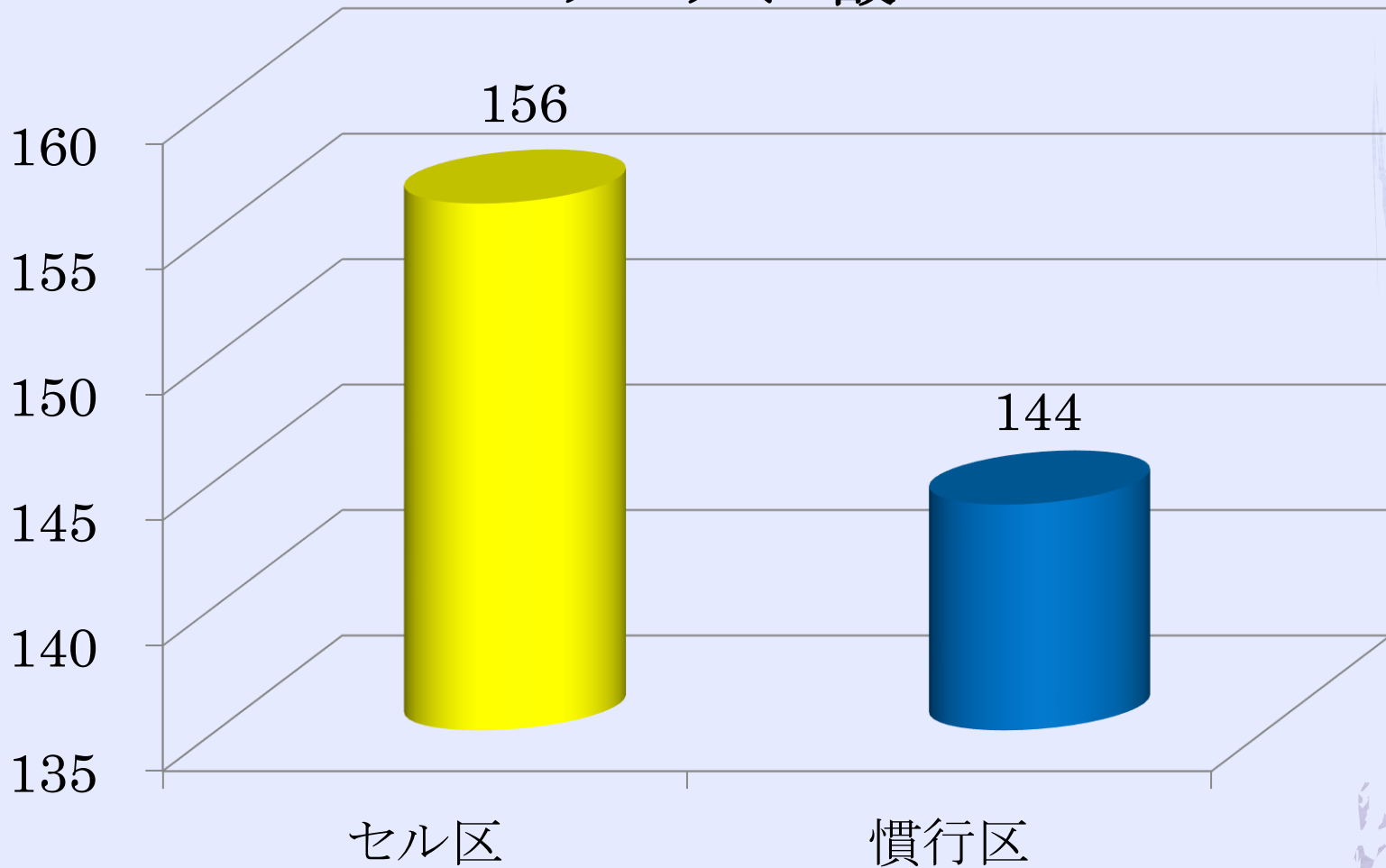


# 旨味成分分析結果

2024年 デザイナーフーズ株式会社

## グルタミン酸

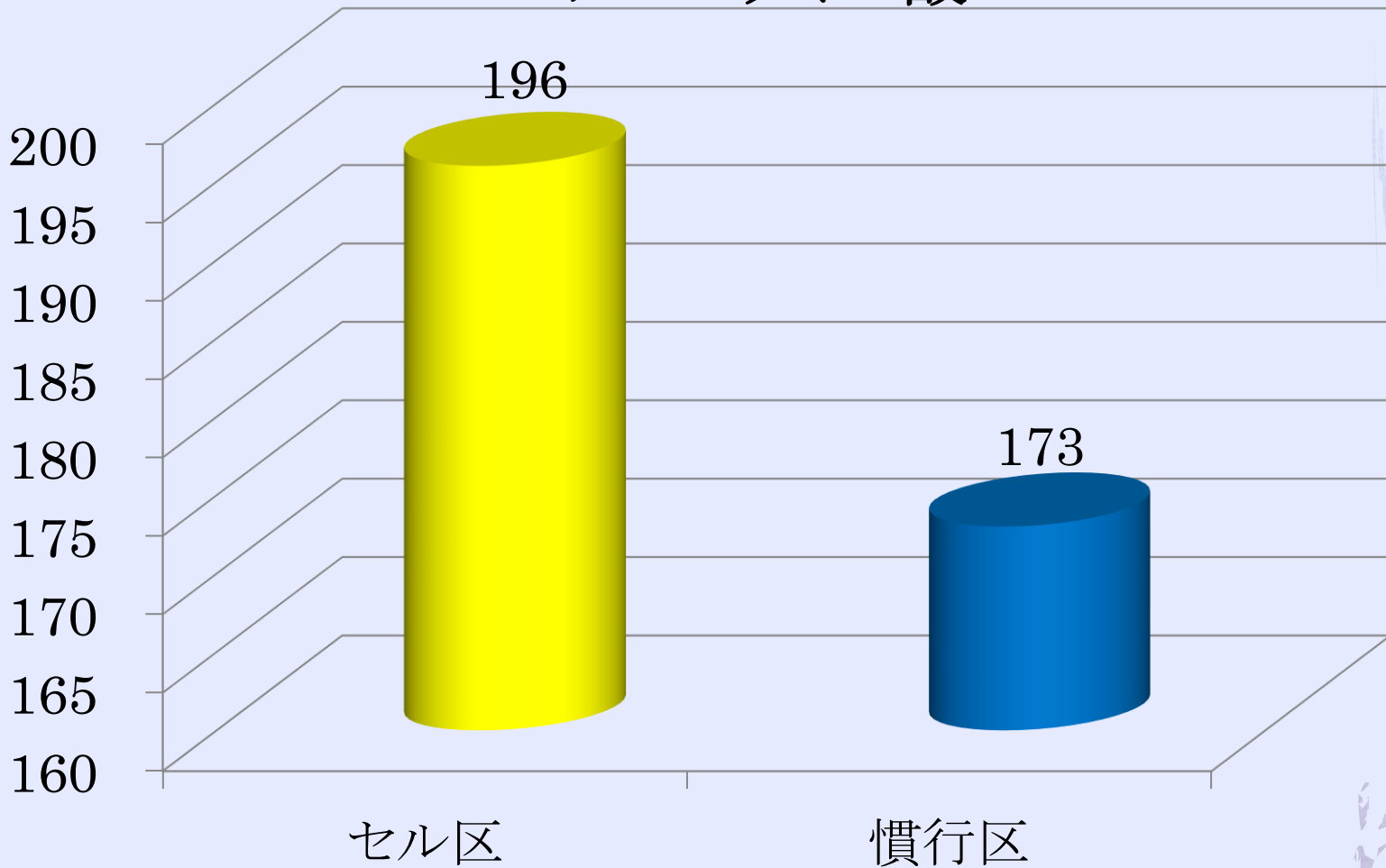
単位mg/100g



セル区で慣行区の**108.3%**達成！

## アスパラギン酸

単位mg/100g



セル区で慣行区の**113.2%**達成！